

V 地域社会への貢献

雑誌名	鹿児島大学農学部農場年報
巻	6
ページ	51-52
発行年	20100
URL	http://hdl.handle.net/10232/21123

V 地域社会への貢献

農場では、地域住民を対象とした市民農業講座を開催するとともに、農業技術研究会を立ち上げて、農場で開発した技術の移転を進めている。また、幼稚園児、小学生を対象とした食育に取り組み、さらに地域住民に施設を解放し、また農場実習の副産物を定期的に販売するなど、様々な形で市民との交流を図っている。

1 農業技術の啓発

1) 市民農業講座

地域住民を対象に、毎年4月上旬に開催される展示即売会にあわせ、農業に係わる今日的な話題をわかり易く解説した公開講座を開催している。平成22年度は市民農業講座として以下の講座を開講した。

開催日：4月8日(木) 13:00~15:00

講座名：「はじめての草木染め」

講師：鹿児島大学農学部附属農場指宿植物試験場 技術職員 中野八伯

2 地域活動に対する支援

1) 八重山高原星物語

22年4月に宮崎県の口蹄疫発生のため中止。

3 食育と環境教育の取り組み

子供達の食の乱れの是正や自然への渴望を満たすために、技術職員を中心に下記のような食育の取り組みをしている。

1) お芋ができるまで(学内農場農事部)

対象：めぐみ幼稚園、園児60名、教師10名

時期：5月：芋の苗植え、10月：芋掘り

内容：自然とかけ離れた環境で育った園児に、土にまみれてサツマイモを育てることを介して、自然と食に興味を持つようにする。5月にサツマイモの苗植え、10月に収穫を行う。

2) ミカンのふるさと(唐湊果樹園)

対象：鹿児島大学教育学部附属幼稚園、園児66名、教師6名

時期：11月2日

内容：みかん狩り体験を通して、収穫の喜びを味わったり、大学の施設について知り、感謝の気持ちを持ったりする。

4 施設の公開

周辺住民の散策場所として、農場を常時解放するとともに、自治体や団体等が開催するイベントに対して、要請があれば積極的に施設の開放を行っている。

1) 農場へようこそ(学内農場農事部、唐湊果樹園)

対象：一般市民

時期：随時

内容：鹿児島市内に位置する学内農場農事部と唐湊果樹園は、農場見学、俳句読み、植物採集、写真撮影、散策など、都市に浮かぶオアシスとして市民の人気スポットである。農場としては、癒しの空間として農場を整備し、市民に開放するとともに、来場者に対して農場施設の役割を啓発する。

5 生産物の販売

学生実習に伴って産出される農産物の有効利用を図る観点から、生産物の展示即売会を下記のような日程で開催している。

1) 農場4施設合同の展示即売会

対象：一般市民約4,200~4,500名

時期：4月7日(水)~8日(木) 9時~15時

場所：学内農場の一角にテント張りの特設会場を設営して開催

内容：実習で生産した米、野菜、苗物、花卉、観葉植物、果物、牛肉など約130品目19,000点を農場職員と学生

が一体となって開催する展示販売会である。

2) 農場4 施設合同の定期販売会

対象：一般市民

時期：毎月、第2週と第4週の水曜日の昼休み時に開催

場所：学内農場販売所

内容：実習で生産した米、野菜、苗物、花卉、観葉植物、果物などを販売している。

3) 施設毎の定期即売会

(1) 唐湊果樹園

対象：一般市民

時期：毎月、第1週と第3週の水曜日の昼休み時に開催

場所：唐湊果樹園

内容：実習で生産した果物を販売している。

(2) 指宿植物試験場

対象：一般市民

時期：毎週月曜日の昼休み時に開催

場所：指宿植物試験場

内容：実習で生産した熱帯果実、観葉植物などを販売している。